



JVA MASTER PLAN

JVA中長期経営計画

2024年4月1日

公益財団法人日本バレーボール協会

JAPAN VOLLEYBALL MANIFESTO

私たちの基本理念：JAPANバレーボール宣言

JAPAN VOLLEYBALL MANIFESTO

JAPANバレーボール宣言

私たちの基本理念である
「JAPANバレーボール宣言」を
2023年1月1日に制定。

“つなぐ力”を世界に育むという
私たちの志を貫き、
様々な活動に取り組んでいきます。

“つなぐ力”を世界に育む

落とさずにボールをつなぐ。
私たちは、バレーボールが持っている“つなぐ力”を信じる。

相手を思いボールをつなぐことで、紡がれる絆。
競技の楽しさをつなぐことで、広がる仲間。
垣根を超え心をつなぐことで、生まれる可能性。
夢と情熱をつなぐことで、分かちあう感動。

誠実に、勇気を持って。
バレーボールの“つなぐ力”を世界に育み、
スポーツ文化の未来を力強く切り拓いていく。



JVA SLOGAN

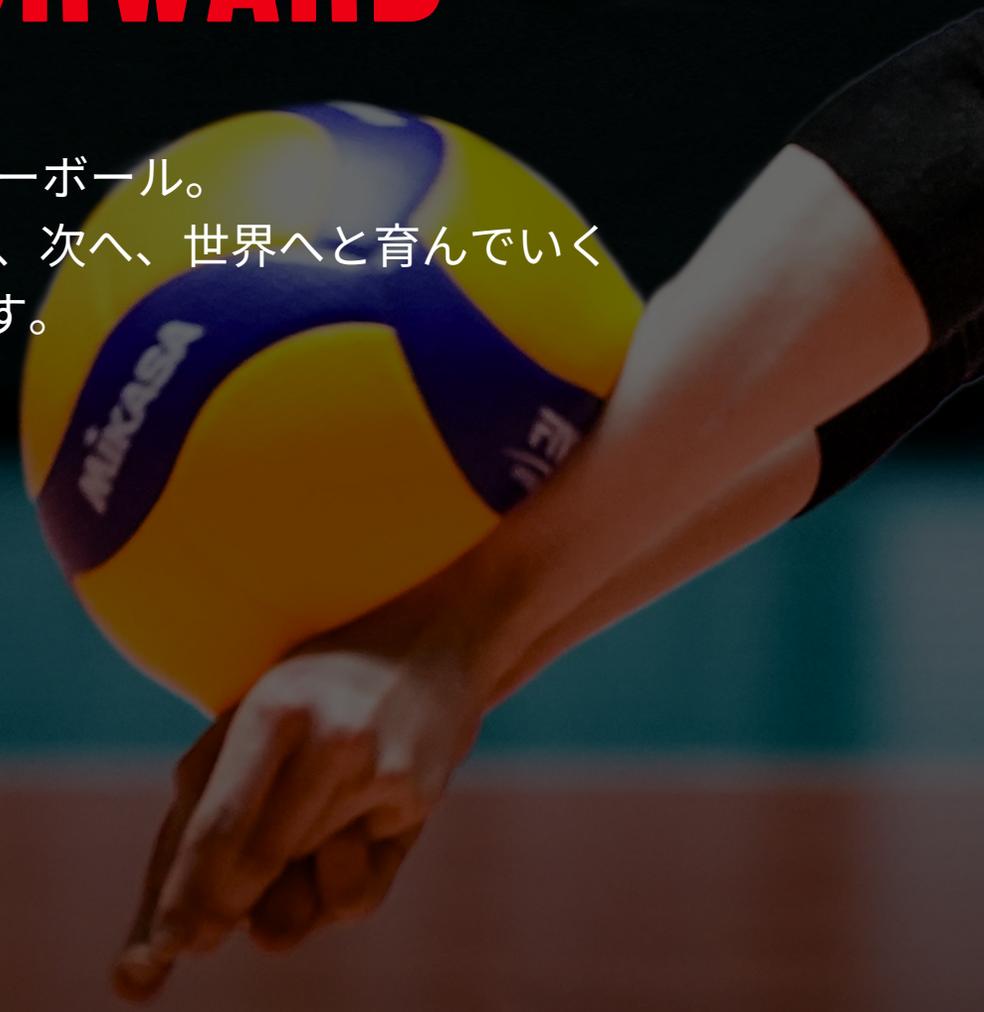
JVAスローガン

私たちの基本理念である
「JAPANバレーボール宣言」の
エッセンスを内外に対して端的に
表したメッセージを開発。

私たちの思いを、このスローガン
を通じて、様々な人々に
伝えていきます。

PASS IT FORWARD

つなぐことを大切にするバレーボール。
“つなぐ力”を生み出し、前へ、次へ、世界へと育んでいく
JVAの意志が込められています。



JVA FORWARD VISION 2040

長期ビジョン2040

JVA FORWARD VISION 2040

長期ビジョン2040

“つなぐ力”で、つなげる未来

ボールをつなぎ勝利を目指す日本代表の姿が届ける、感動や夢、勇気。
テクノロジーを活用した体験創造が生み出す、新たな魅力や楽しさ。
老若男女や障害の有無を問わず競技に携わることで得られる、絆や生きがい。
常に思いやりをもち、誠実に行動することで導かれる、健全な精神や社会。

競技という枠を超え、いつでも、どこでも、誰もが“つなぐ力”を体感できるようになり、
バレーボールを愛する仲間の輪がどんどん広がっていく。

バレーボール界が一丸となり“つなぐ力”を育み、伝えることで、
スポーツ文化の未来を力強く切り拓き、JVAが長期ビジョン2040で描く姿をカタチにしていきます。

長期ビジョン2040で目指す社会 の実現に向けた中期経営計画

スポーツ界にとっての大きな区切りとなる、
五輪開催年の2028年、2032年、2036年に、
4年間(2024~2028年のみ5年間)の中期経営計画を
策定し遂行していきます。

最初の中期経営計画は、2028年における
目標設定とその達成プランを策定します。

PASS IT FORWARD

2028

中期経営計画2028

JVA FORWARD PLAN 2028

2028年以降、4年毎に中期経営計画を制定し公表。
目標設定とその達成プランを明確にし、行動に起こす。

2032

2036

長期ビジョン2040

JVA FORWARD VISION 2040

“つなぐ力”で、つなげる未来

長期ビジョン2040で目指す社会の実現に向けて、
私たちが2028年までに達成する目標とは

取り巻く環境、社会の変化

スポーツやバレーボールを取り巻く環境や社会の変化への、私たちの柔軟な対応が求められています。

社会的動向や社会課題

脱コロナ社会のライフスタイル

- アクティブな生活様式の復活
- 対面コミュニケーションの利点
- 人々の健康志向

社会的課題への注目度アップ

- 地球環境
- ジェンダー問題、ダイバーシティ
- 学校スポーツにおける暴力的指導
- コンプライアンス

スポーツをめぐる環境や意識の変化

アフター2020のスポーツ

- 競技団体やスポーツそのものが社会的意義を求められている
- 競技団体が社会の一員として高潔性や社会貢献度を期待されている

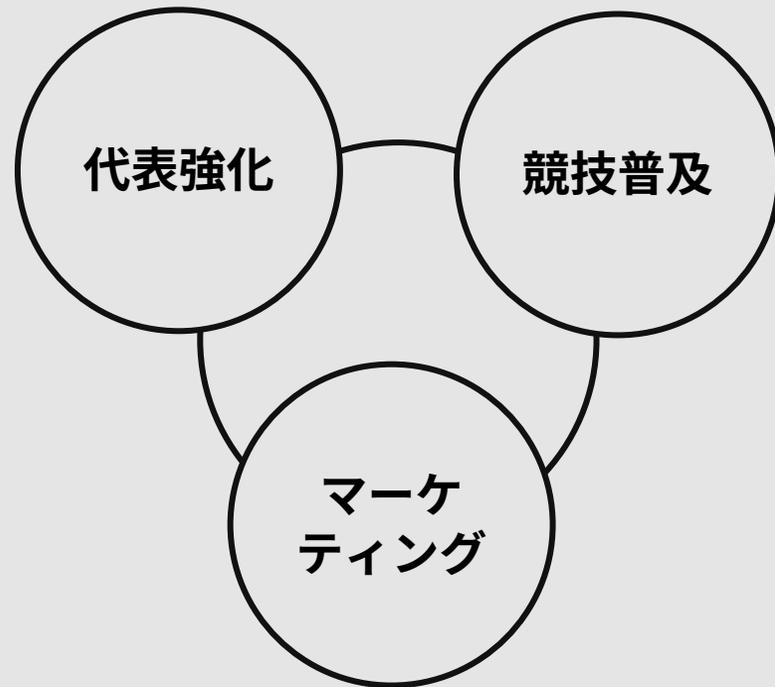
競技人口の減少傾向

- 少子化
- 部活の地域移行に伴う若年層競技環境の変化
- 人気種目の多様化

中期経営計画策定に向けて① 社会貢献

「代表チーム強化」「環境の変化に対応した競技普及策」「社会的動向に対応したマーケティング活動」の活動の柱に、これからは「競技を通じた社会貢献活動」を加え、社会からの期待に応えるべく推進していきます。

これまでの活動の柱



これからの活動の柱



組織改革と信頼される組織運営は、 現体制で最も重要な使命

私たちは、現体制で最も重要な使命として「組織改革と信頼される組織運営」に取り組み、社会的信頼感の獲得と全国・全世代それぞれの状況によりの確に対応していくことを目指します。

目的意識と高潔な精神性を 併せ持つ組織風土の形成

マネジメント、ガバナンス／コンプライアンス、人財を整備して様々な人財が公平に評価され、職員各々がやりがいと帰属意識に溢れ、公益財団法人として組織の目的意識と高潔な精神性を併せ持つ組織風土の形成を目指します。

信頼される組織運営と 全国ネットワークの連携強化

スポーツやバレーボールを取り巻く環境や社会の変化に柔軟に対応するために、戦略性のある予算配分などを決定する透明性を持った経営判断プロセスの構築や加盟団体の法人化などの実行によって、多くのステークホルダーに信頼される組織運営と全国ネットワークの連携強化に取り組みます。

JAPAN VOLLEYBALL WAY

JAPANバレーボールWAY

私たちは、組織風土改革の第一歩として行動規範「JAPANバレーボールWAY」を制定。

これからの私たちの行動すべてが、この行動規範に沿うものであることを常に確認しながら進めていきます。

JVAだけでなく加盟団体ほかバレーボールに携わる人全てが心に掲げるべき行動規範として2023年1月1日に公表。

DO GOOD

“正しさ”を貫き、誠実に行動すること

SERVE OTHERS

思いやりを持ち、相手に寄り添う姿勢をしめすこと

BE A TEAM

仲間とのつながりを広げ、心をひとつにすること

CHANGE THE GAME

一人ひとりが主体的に取り組み、新たな可能性に挑むこと

CREATE WOWS

バレーボール愛を力に変え、スポーツの素晴らしさを届けること

JVA FORWARD PLAN 2028

中期経営計画2028

JVAの「活動の4つの柱」と、
それを支え推進力となる「組織運営」

誠実で信頼される組織運営を推進力に、
2028年における活動の4つの柱の具体的な達成目標に取り組むことで、
相互作用を起こしながら成長を生み出します。

未来の成長

**世界と戦う強く、応援される
代表チーム作り**

2028年のロサンゼルスオリンピックで
インドア男女ともメダル、ビーチ男女とも出場

代表強化

競技普及

**競技に携わる多くの仲間との
つながり拡大**

選手登録数100万人、指導者登録数10万人を達成

相互作用

**ファンや企業の皆様へ向けた
新たな価値の発掘・提供**

協賛32社以上／15億円、ファンクラブ会員15,000人を達成

マーケ
ティング

社会貢献

**豊かな社会の実現に向けた
貢献活動**

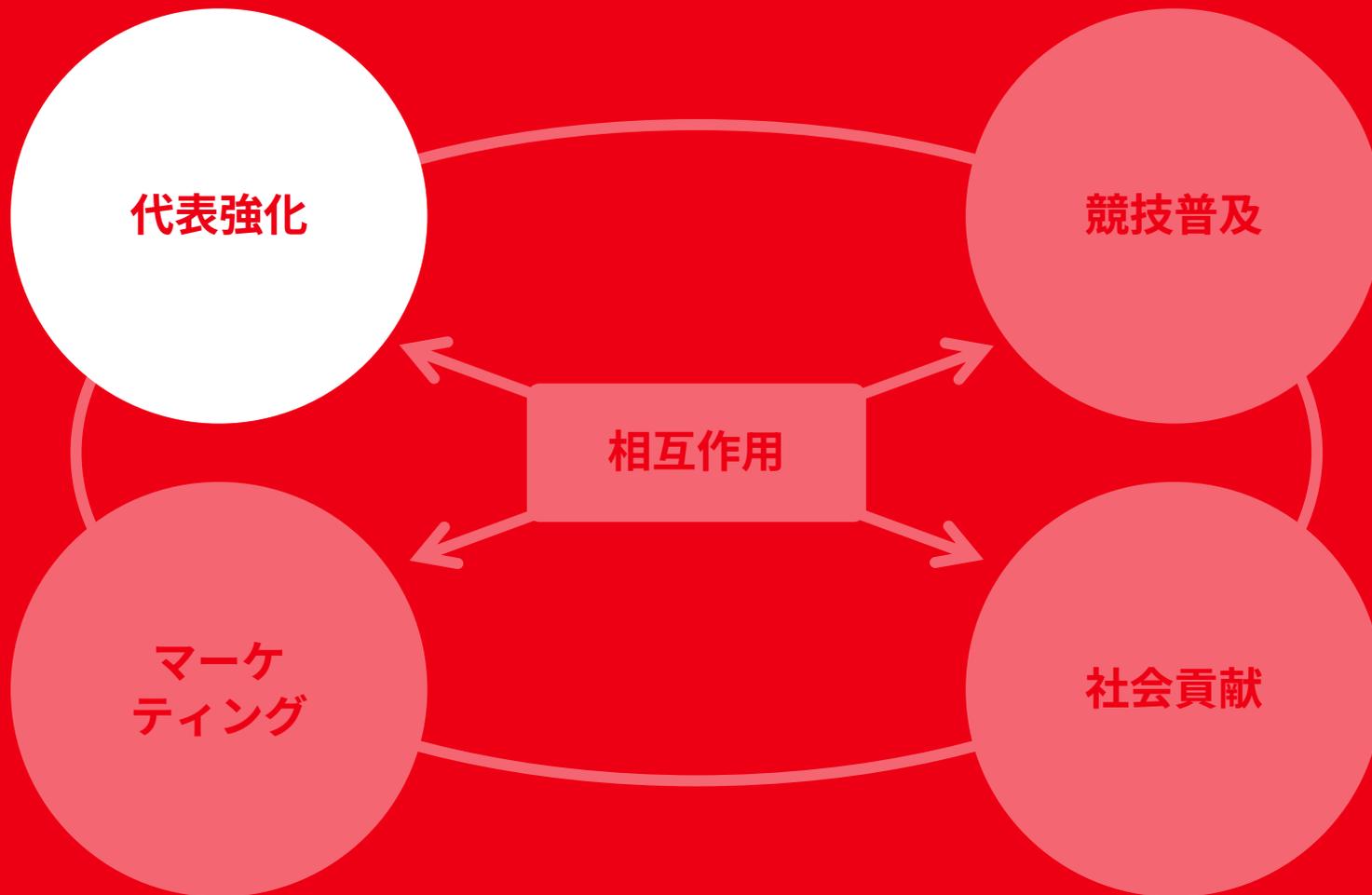
バレーボールの“つなぐ力”が生み出す価値を活用した、
社会貢献活動に関する具体的なアクションの実行

活動の4つの柱を支え、成長の推進力となる「組織運営」

組織改革による誠実で信頼される組織運営と全国ネットワークの連携強化

マネジメント、ガバナンス／コンプライアンス、人財活用システムの整備、組織風土の形成と全国ネットワークの連携強化

代表強化



活動の4つの柱を支え、
成長の推進力となる「組織運営」

世界と戦う強く、応援される 代表チーム作り

日本代表は「日本バレーボールの象徴」

日本代表チームの活躍は、日本のバレーボール全体を活性化し、人々に感動や夢、勇気を届けます。そして単に強いだけでなく、人間的にも尊敬される憧れであり、全てのバレーボールを代表する存在です。

常に誇りと自覚をもって行動できる、愛すべき、強い日本代表チームであり続けるために。

協会は、日本代表選手の声に積極的に寄り添い、あらゆる世代やエリアの仲間と共に考え、具体的な施策を実行していきます。

集積した様々な知見を活かし、未来の日本代表のさらなる活躍につなげていきます。

世界と戦う強く、応援される代表チーム作り

2028年までの中間達成目標

2024

パリ五輪

バレーボール
男女メダル獲得

ビーチバレーボール
男女出場

2025

世界選手権

バレーボール
男女メダル獲得

ビーチバレーボール
男女出場

2026

アジア選手権

バレーボール
男女優勝（五輪出場）

アジア大会
ビーチバレーボール
女子優勝／男子入賞

2027

世界選手権

バレーボール
男女メダル獲得

ビーチバレーボール
男女複数チーム出場

2028

ロス五輪

バレーボール
男女メダル獲得

ビーチバレーボール
男女出場

2024～28年バレーボール ネーションズリーグ(VNL) 男女ベスト4以上

強い日本代表チーム作りのための重点施策

POINT

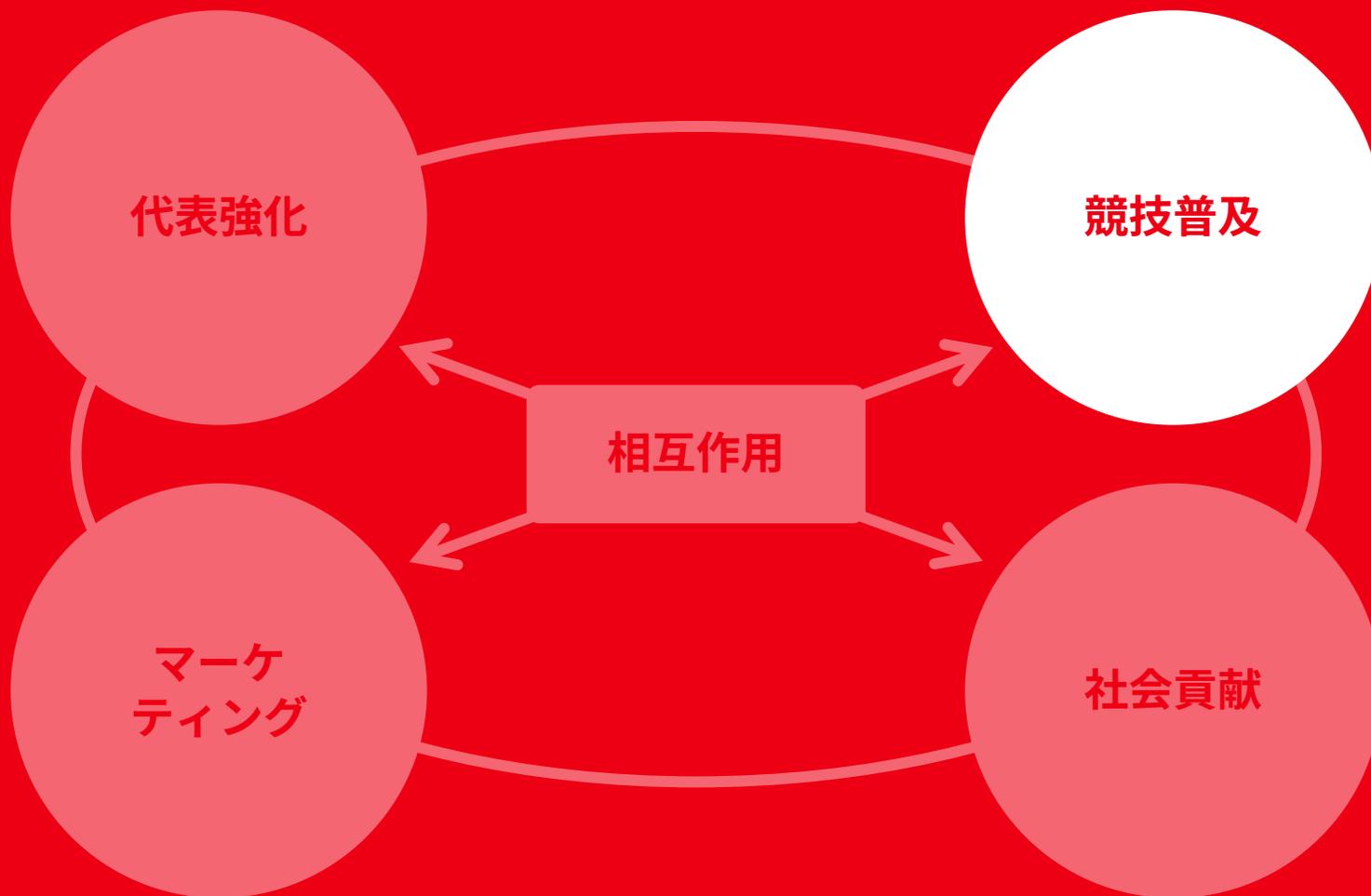
- 世界レベルの情報収集
 - 将来に向けた継続性
 - 科学やデータの積極的活用
 - ジャパンバレーボールリーグと一体化した強化
- 海外の戦術トレンドや外国人指導者情報、海外在住選手発掘など国際的な情報収集力強化
 - 積極的な海外遠征や代表候補選手の海外移籍奨励、支援
 - 国際大会 / 親善試合などの積極的な招致、開催
 - 全世代における選手個人データ、戦術、栄養学、トレーニングなどの知識の蓄積と活用
 - 日本中の若年層から日本代表候補をピックアップできる国内ネットワークの強化
 - アンダーカテゴリーからシニアまで継続性のある育成プランの策定と実行
 - 指導者、トレーナー、アナリストなど強化を支える人の育成や環境整備
 - ジャパンバレーボールリーグと一体になった競技力向上策の推進

応援される日本代表チームであるための重点施策

POINT

- 協会と代表選手のコミュニケーション
 - 選手がやりがいや誇りを持てる環境作り
 - ファンや社会との積極的な交流
- 日本代表のあるべき姿について代表選手との双方向の積極的なコミュニケーション
 - 日本代表選手の環境改善
(メディカル、メンタルケア、フィジカルケア、食、移動環境、女性特有のヘルスケア、報酬など)
 - JVAアスリート委員会と連動した幅広い層のプレー環境改善
 - ファンや協賛企業との積極的なコミュニケーション
 - 大会開催地や企業と連動した競技普及活動や社会貢献活動への積極的な参加

競技普及



活動の4つの柱を支え、
成長の推進力となる「組織運営」

競技に携わる多くの仲間との つながり拡大

多くの仲間とのつながりを広げる

登録制度改革による競技者や指導者の現状把握、それを支える各都道府県協会の法人化の推進などを通じて、少子化や部活動の地域移行に対応しながら幅広い層に向けた施策に注力し、競技に携わる多くの仲間とのつながりを広げていきます。

競技に携わる多くの仲間とのつながり拡大

2023年度実績

選手登録数 42.2万人
指導者登録数 1,000人

(*JVAMRS登録)

2028年度における中間達成目標

選手登録数 100万人
指導者登録数 10万人

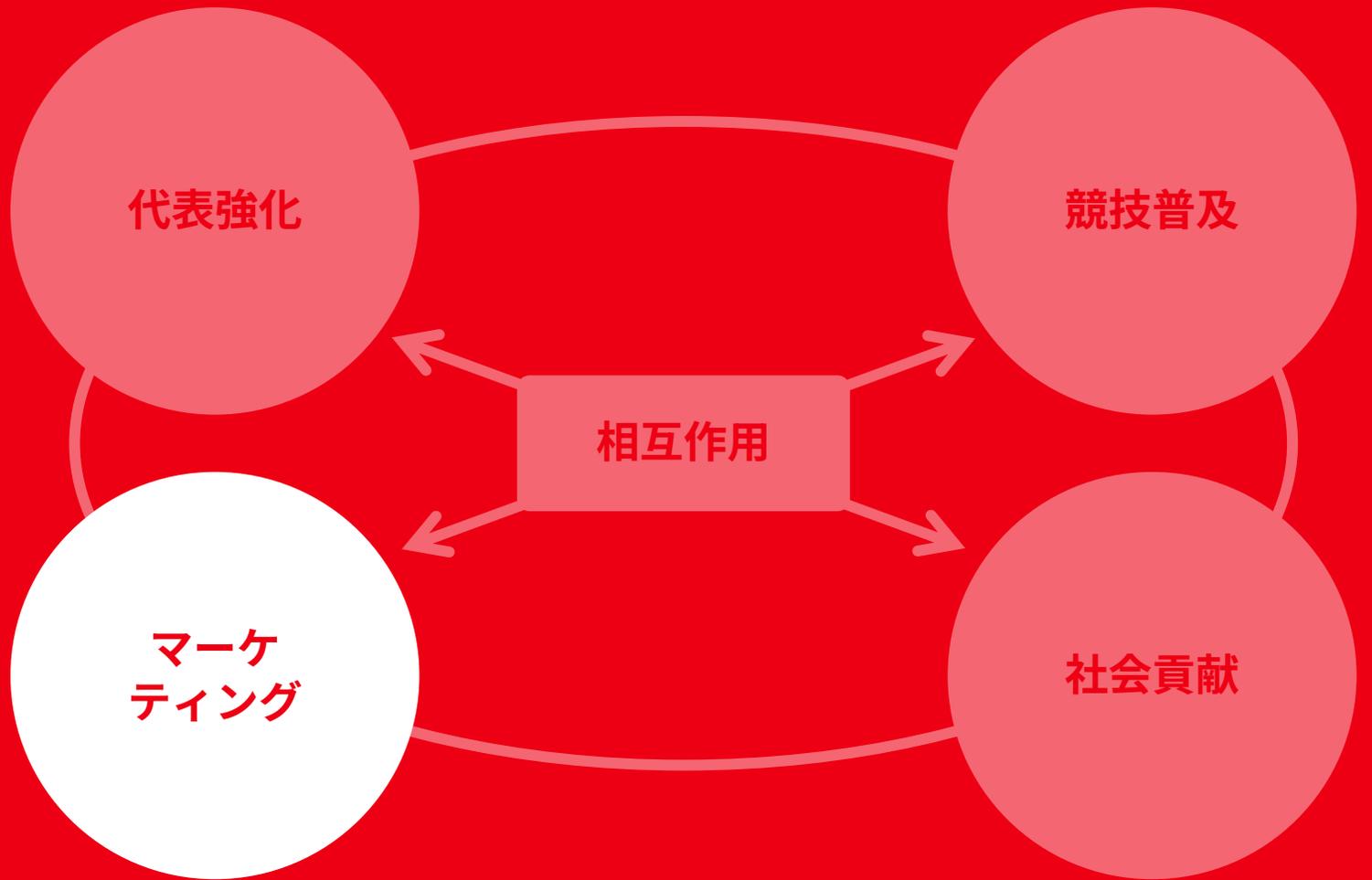
競技人口の拡大のための重点施策

POINT

- 各都道府県協会との連携強化
- 若年層の競技環境の整備
- 生涯スポーツとしての価値向上
- 競技自体の周知活動

- 登録制度改革による競技者・指導者の現状把握と対応原資の獲得
- 全都道府県協会の法人化による全国網の連携強化
- 指導者教育や資格制度の見直し
- 各都道府県協会による部活動の地域移行や少子化、他競技との競争激化への対応支援
- 暴力的指導撲滅キャンペーンなどによる、若年層が安心して競技に参加できる環境作り
- 既存大会の注目度向上施策や新しい試みなどによる国内大会の価値向上
- 地域と密着したバレーボール教室など体験できる場の増加
- 壮年層が参加できる国内大会の推進
- 日本代表の紅白戦などの稼働による実施地域の競技熱向上、活性化
- ジャパンバレーボールリーグの地域密着共生施策と連動した普及プランの推進
- 国際大会 / 親善試合などの積極的な招致、開催
- デジタル化推進による幅広い年齢層との新しいつながり方の推進

マーケティング



活動の4つの柱を支え、
成長の推進力となる「組織運営」

ファンや企業の皆様へ向けた 新たな価値の発掘・提供

バレーボールの新たな価値を発掘、提供する

ファンや企業、社会に共感を得られる新たな価値の創造やテクノロジーがもたらす新しい体験を活用し、応援してくれる人を増やし協会の活動を支える収入の拡大を目指します。

新たな価値を創造するための重点施策

2023年度 実績

企業協賛

(サプライヤー、個別大会協賛含む)

27社／11億4,600万円

日本代表ファンクラブ有料会員数
9,491人

2028年度 達成目標

企業協賛

(サプライヤー、個別大会協賛含む)

32社以上／15億円

日本代表ファンクラブ有料会員数
15,000人

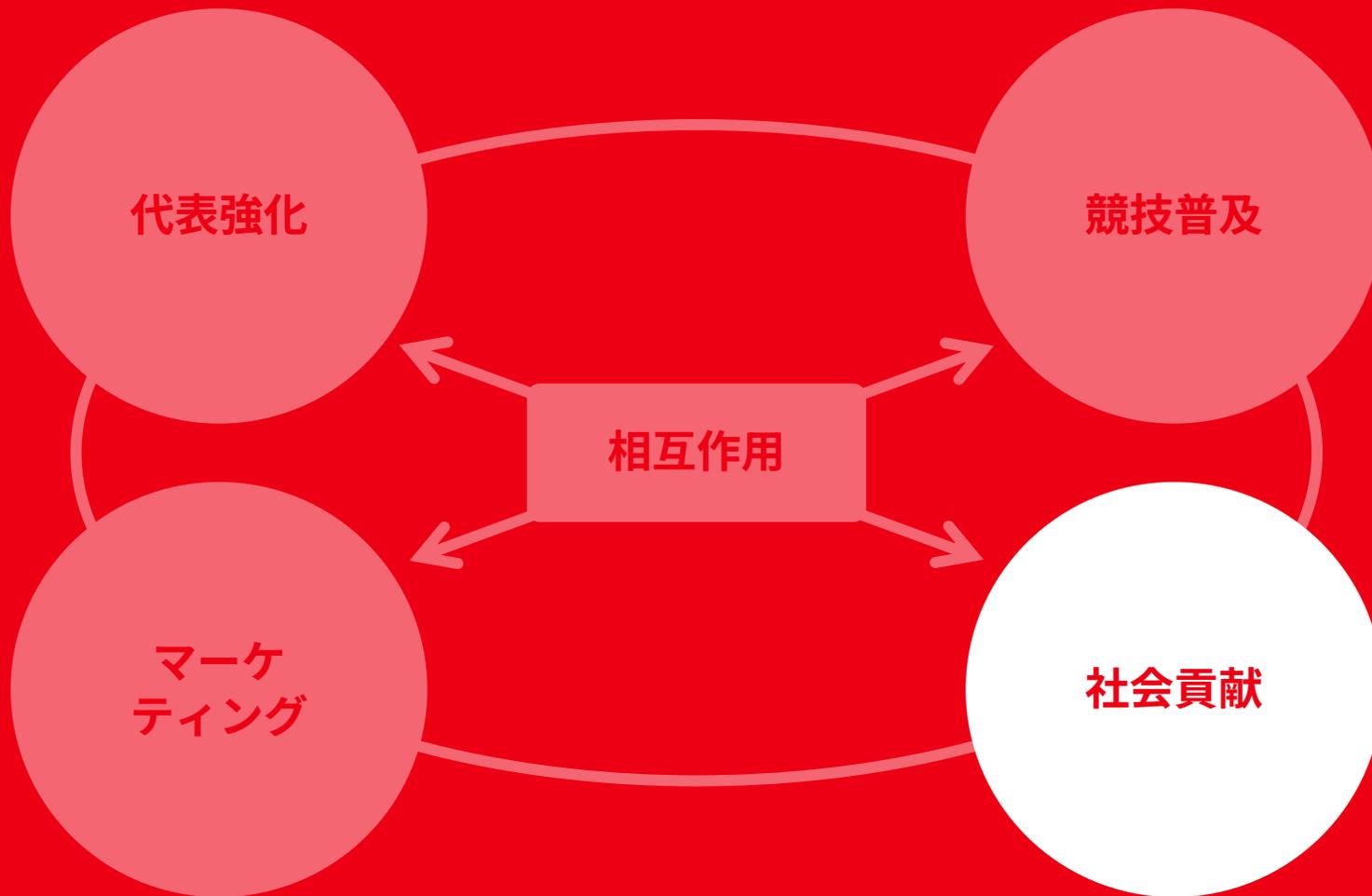
新たな価値を創造するための重点施策

POINT

- 代表ユニフォームや大会看板以外の商材開発
- 新しい競技イメージの構築
- マーケティング機会の創出
- ファンマーケティングの拡大

- 社会や企業に共感・応援してもらえる様々な社会活動の推進と協賛企業との協業による新分野の開拓
- 新ブランディングを活用したイメージ戦略と商品開発
- 日本代表肖像を活用したマーケティングの更なる推進
- 既存大会の注目度向上施策や新しい試みなどによる国内大会の価値向上
- ビーチバレーボール国内ツアーの新しいイメージ戦略による価値向上
- バレーボールの新しい観戦体験・視聴体験の創出とマネタイズの推進
- 国際大会 / 親善試合などの積極的な招致、開催とそれに伴うマーケティング機会の創出
- チケット先行販売、グッズEC、イベント参加なども含めたファン体験のクオリティ向上とそれに伴うマネタイズの拡大
- バレーボールの魅力を広く人々や社会に伝える効果的なプロモーション戦略の立案と実施
- ジャパンバレーボールリーグと連動し、相乗効果を生むファンマーケティングの推進

社会貢献



活動の4つの柱を支え、
成長の推進力となる「組織運営」

豊かな社会の実現に 向けた貢献活動

スポーツ界の社会貢献活動におけるトップランナーとなる

私たちの信じる“つなぐ力”の可能性を追求し、積極的なアクションによって、世代や性別、社会的な立場の違いや身体的な違いを超えて、心をつなぎ、豊かな社会の実現に貢献していきます。

豊かな社会の実現に向けた貢献活動

2028年度における中間達成目標

バレーボールの“つなぐ力”が
生み出す価値を活用して、
社会貢献活動に関する
具体的なアクションを実行

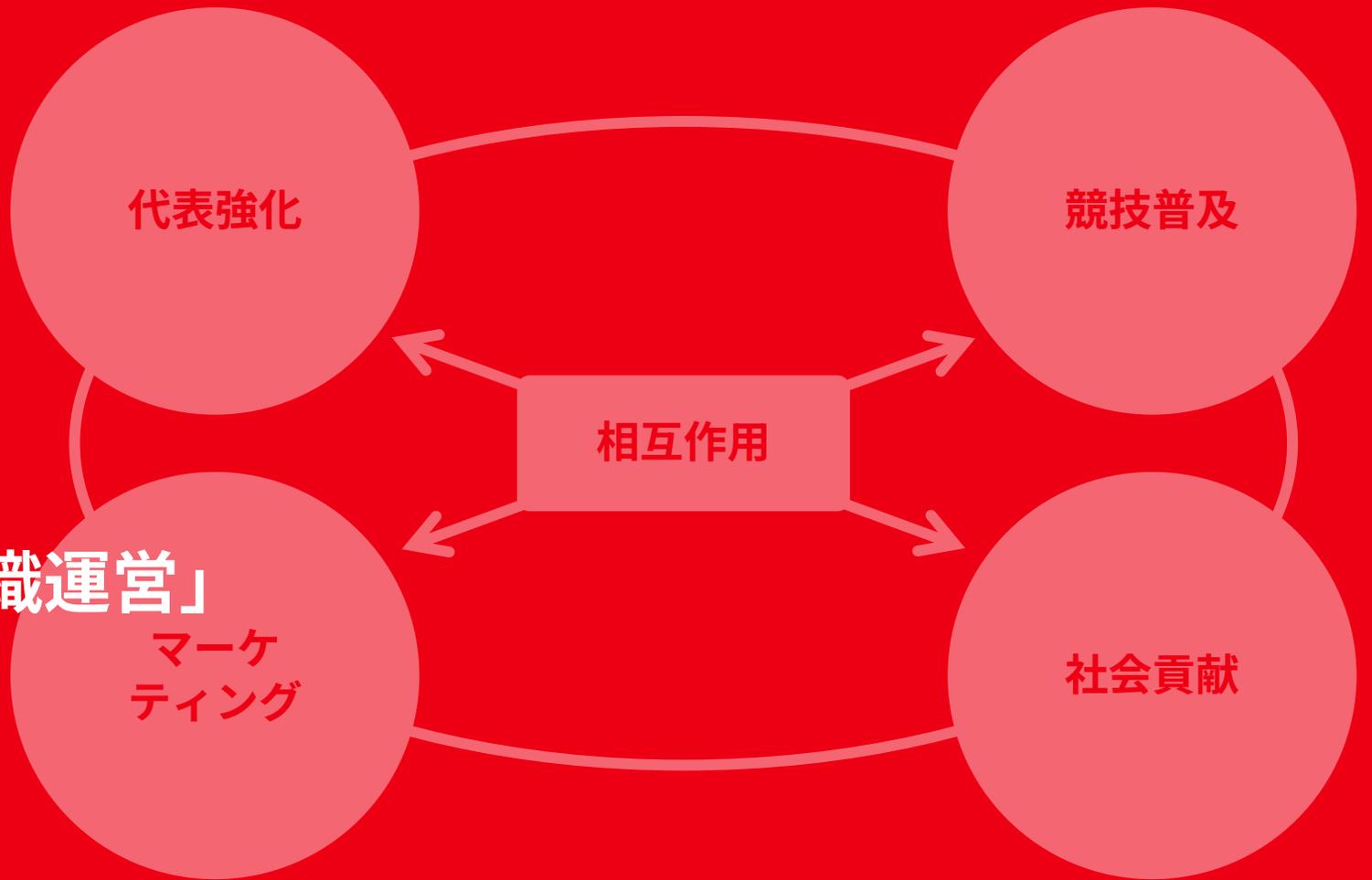
2040年、社会において多くの
社会貢献活動に欠かせない
パートナーとして豊かな
社会の実現に貢献している

豊かな社会の実現に貢献するために実施すべき具体的アクション

POINT

- 環境問題への取り組み
 - 暴力的指導撤廃 / 暴力問題根絶
 - 教育 / 普及プログラム推進
 - 障害者の生活の充実への貢献
 - 生涯スポーツの場を提供
- 国際 / 国内大会開催時のCO2排出対策やビーチバレー大会開催時の環境活動
 - 暴力問題の対処に留まらない暴力行為そのものの根絶を目指すキャンペーンの持続的な展開
 - 地域と連動した保護者と子供が共に参加する新しい教育プログラムの開発と実施
 - デフバレー / シットィングバレーとのより深い関係性を築く
 - 生涯スポーツとしてのバレーボールの推進による壮年期以降の生きがい創出
 - 日本代表OB / OGと連携した幅広い年齢層を元気にするプロジェクトの推進
 - ジャパンバレーボールリーグと連携した地域貢献活動の推進

活動の4つの柱を支え、
成長の推進力となる「組織運営」



活動の4つの柱を支え、
成長の推進力となる「組織運営」

組織改革による、 誠実で信頼される組織運営と 全国ネットワークの連携強化

信頼感と期待感を持たれ、実行できる組織への変革

様々な人財が公平に評価され、職員各々がやりがいと帰属意識に溢れ、公益財団法人として組織の目的意識と高潔な精神性を併せ持つ組織風土の形成を目指します。

また戦略性のある予算配分などを決定する透明性を持った経営判断プロセスの構築や、加盟団体の法人化などの実行によって、多くのステークホルダーに信頼される組織運営とより強固で一体感のある全国ネットワークの連携強化に取り組みます。

組織改革による、誠実で信頼される 組織運営と全国ネットワークの連携強化

2028年度における中間達成目標

組織風土の確立

JAPANバレーボールWAYが職員や
加盟団体に浸透し意識されている状態

公益財団法人としての目的意識が共有され社会における存在意義、高い原価意識、高潔な精神性を併せ持つ組織風土の成形を目指す。

信頼感と期待感を 抱いてもらえる組織

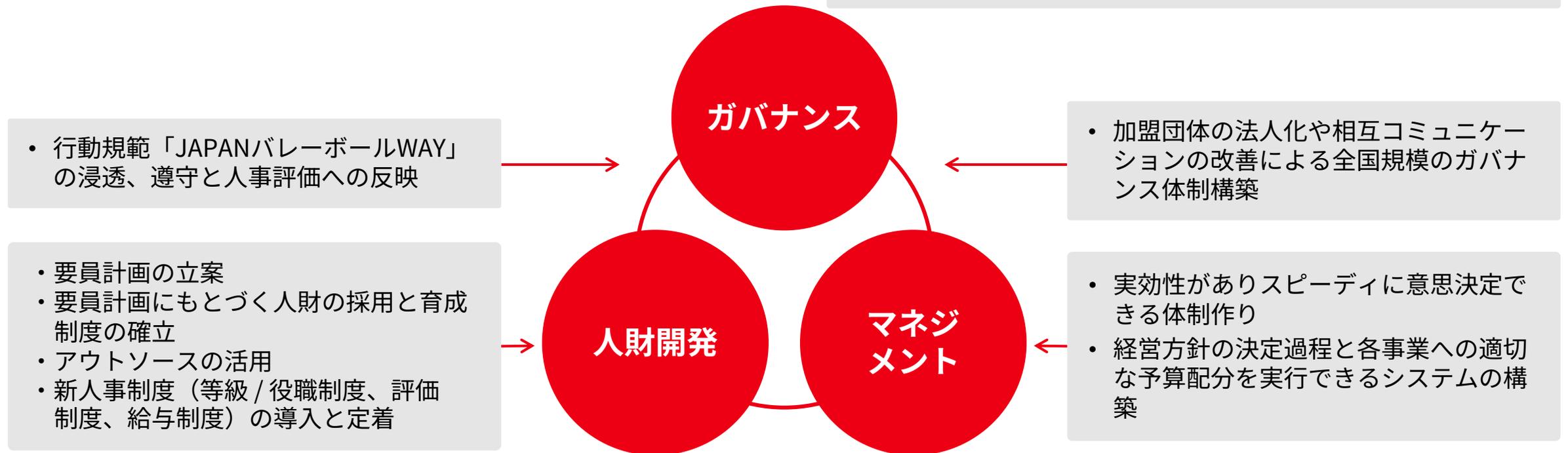
JAPANバレーボールWAYが日本全国で
より高いレベルで実践されている

- ・スポーツが生み出す感動に携わるワクワク感がある
- ・感動を生み出す挑戦意欲に溢れている
- ・社会的意義のある仕事に対する誇りがある
- ・高いコンプライアンス意識を持っている
- ・専門性のある知識が蓄積されている

2028年までに整備すべきポイント

様々な施策によりガバナンス / コンプライアンス、マネジメント、人財活用を整備すると共に全国、全世代の組織と速やかな意思疎通のできるネットワークの連携強化を推進します。

- ガバナンスコード適合性の継続的な改善
- 組織内コミュニケーションの円滑化
- 全国との速やかな意思疎通のできるネットワークの連携強化



“つなぐ力”を世界に育むために

JVA EMBLEM

JVAエンブレム

JAPANバレーボール宣言に込められた、
私たちの信じる“つなぐ力”の象徴として、
新たにJVAエンブレムを制定しました。

バレーボールを通じて、
多くの人々をより楽しく、明るく、夢中にする、
私たちが目指す豊かな社会の実現のために。

JVAはこのエンブレムを掲げ、バレーボール界、
さらには日本全体を、より強く、より広くつなげ、
「中長期経営計画」を着実に遂行し、
その先にある未来に向かっていきます。



PASS IT FORWARD

Thank you!